

&lt;学校教育目標&gt;

さわやかに、かしこく、たくましく未来を拓く見初っ子の育成

## 人と出会う 夢と出会う

校長 川本 朋子

秋風が優しく頬をなで、通り過ぎていきます。秋を感じる今日この頃。学校では、元気いっぱい虫取り網とかごをもって走り回る子どもたちの笑顔であふれています。暑さが和らいで、学習活動も進んでいくことが期待される10月。たくさんの行事も予定されており、子どもたちのやる気も高まりそうです。

学習の場で、あるいは行事を経験する中で大切なこと。それは、**様々な人に出会う**ということです。いつも、一緒にいる家族や友達、学校の教職員だけでなく、学習活動を通して、本を通して、作品を通して・・・様々な機会から、人と触れ合ったり、話したり、関わったりすることで、その人の考えや生き方に触れ、そこから自分自身のことを振り返り、自分の今を見つめ、自分の将来を考えるきっかけになるのではと思います。

「いつも『わくわく楽習』で囲碁や将棋を教えてくださいさる地域の方は、子どもころからこうして遊んでいたんだって。他にどんな遊びをしておられたんだろう。」「今度、社会見学で行くときわ公園の動物の飼育員さんのお話を聞いてみたいな。動物のお世話は大変ではないかな。どうして、飼育員になろうと思われたのかな。」「読書で、宮沢賢治の本を読んだよ。自然を愛する人だったのかな。自分は自然を大切にしているかな。」「校庭にある彫刻『プラントロニカ 宇部』。作者は一体どんな人かな。どんなことを考えてこの彫刻を作ったのかな。自分も将来、ものを創造する仕事をしてみたいな。」「… 人と出会うことで、様々な想像も世界も夢も広がっていきます。

**人と出会うこと。それはその人の生き方と出会い、その先にある自分の夢と出会うこと。**学校や地域は、その可能性を大きく広げることができる場だと考えています。そのために、学校では様々な「出あい」を広げる学習活動や行事を展開しています。9月下旬からは社会見学や修学旅行、10月には宿泊学習があります。見初まつりや地域合同避難訓練、人権教室。あおぞら号でお気に入りの本を選ぶことも。地域でも見初芸能文化祭が催されます。子どもたちの真剣で、そしてうれしそうな眼差しが想像できます。

このようなたくさんの人との出会いの中で、子どもたちには多くの夢と出合ってほしいと思います。「出あい」をエネルギーにして、学校教育目標にもあるように、**自ら未来を拓き自分らしく生き抜く人に育ててほしい**と願っています。ぜひ、様々な機会を通して、子どもたちに触れ合っていたいただけたら嬉しく思います。

教室のロッカーの上には、  
宮沢賢治の絵本がずらり

見初まつりをお楽しみに！



いつもは給食室におられる学校給食栄養職員藤本先生の食育の授業